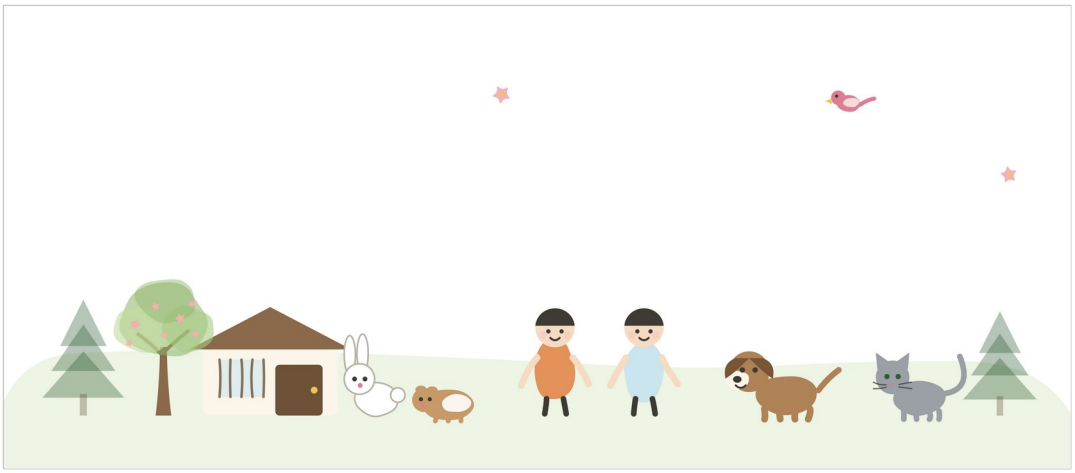
むすびの森教育　幹（Miki）プログラム

小学校版

③ 7～14歳　感情・芸術・基礎学力を育てる

Musubi no Mori Education （MME）



いのちを世話する

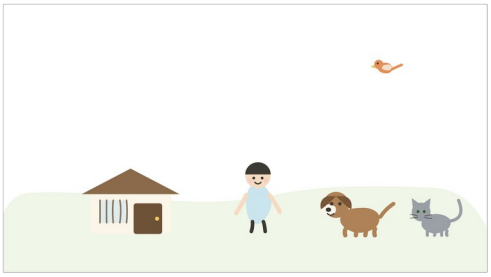
エポック授業・自由選択ワーク・飼育当番の3本柱で進めます

小学校学習指導要領に完全準拠

はじめに

この時期の子ども像

7 ～ 14 歳は、感情を通して世界を理解する時期です



情

感情で理解する

美しい・かわいそう・不思議。心が動いたことだけが残ります

像

イメージで考える

定義より物語。絵と比喩から概念へ進みます

権

確かな大人を求める

「この先生が言うなら」という信頼が学びを支えます

群

仲間との比較が始まる

できる・できないに敏感。当番の分担が自己肯定感を支えます

はじめに

小学校期の 3 本柱

エ　エポック授業（毎朝 90 分）

1 つのテーマを 3 〜 4 週間、物語と芸術と観察で深く学ぶ

自　自由選択ワーク（ 45 分）

教具と課題を自分で選び、集中する

当　いのちの当番（毎朝 30 分）

給餌・清掃・観察・記録。学年に応じて責任を広げる

基　基礎学力タイム（ 40 分）

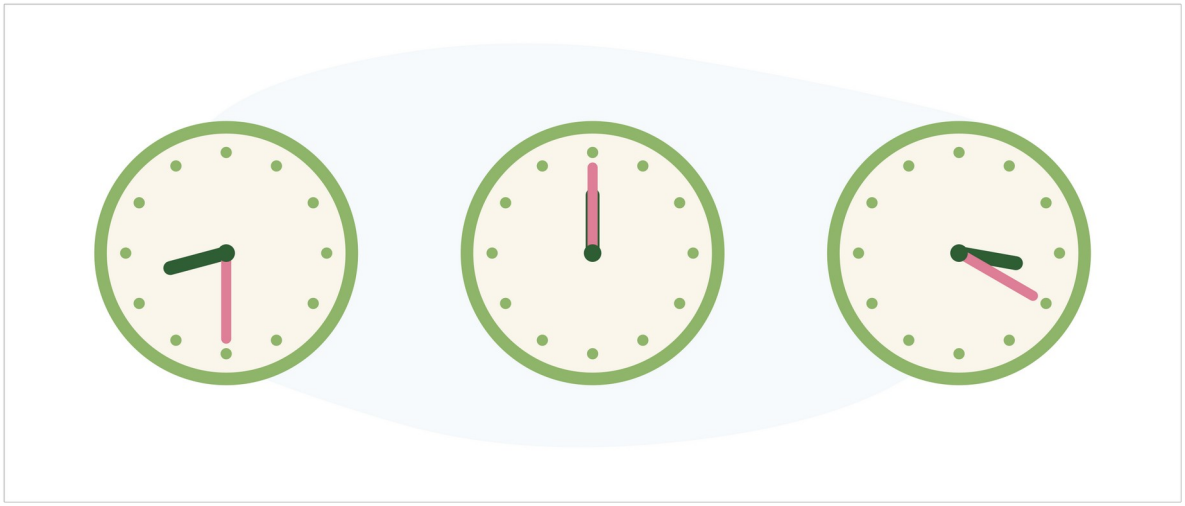
漢字・計算・音読を毎日。指導要領の内容を確実に



CHAPTER 1

1日と1週間

エポック授業を中心に組み立てる時程



1 1日の流れ（低学年・高学年）

2 週間時間割 1〜2年

3 週間時間割 3〜4年

4 週間時間割 5〜6年

1. 1 日と 1 週間

1 日の流れ

午前は思考、午後は実践と芸術。順序は毎日同じ

時刻	1 〜 3 年	4 〜 6 年
8:20	朝のむすびサークル	朝のむすびサークル
8:35	いのちの当番	いのちの当番
9:05	エポック授業	エポック授業
10:35	自由選択ワーク	自由選択ワーク
11:25	基礎学力タイム	基礎学力タイム
12:10	給食・掃除	給食・掃除
13:10	外・実践活動	教科授業
14:00	芸術・手工芸	外・実践活動
14:50	帰りの物語	芸術・手工芸
15:40	—	帰りのふり返り

週間時間割　1～2年

低学年は午後を短く。外遊びと手仕事を厚くします

時限	月	火	水	木	金
1	当番	当番	当番	当番	当番
2	エポ	エポ	エポ	エポ	エポ
3	自由	自由	自由	自由	自由
4	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
5	体育	音楽	菜園	体育	森
6	手工芸	水彩	生活	身体表現	大掃除

エポ＝エポック授業　当番＝いのちの当番
自由＝自由選択ワーク　基礎＝基礎学力タイム
身体表現＝オイリュトミー

週間時間割　3〜4年

教科の時間が増え、飼育の責任も広がります

時限	月	火	水	木	金
1	当番	当番	当番	当番	当番
2	エポ	エポ	エポ	エポ	エポ
3	自由	自由	自由	自由	自由
4	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
5	理科	社会	英語	算数	国語
6	体育	音楽	菜園	体育	森
7	手工芸	水彩	総合	道徳	学級会

エポ＝エポック授業　当番＝いのちの当番
自由＝自由選択ワーク　基礎＝基礎学力タイム
身体表現＝オイリュトミー

週間時間割　5〜6年

探究の芽と、中学校期への橋渡しを組み込みます

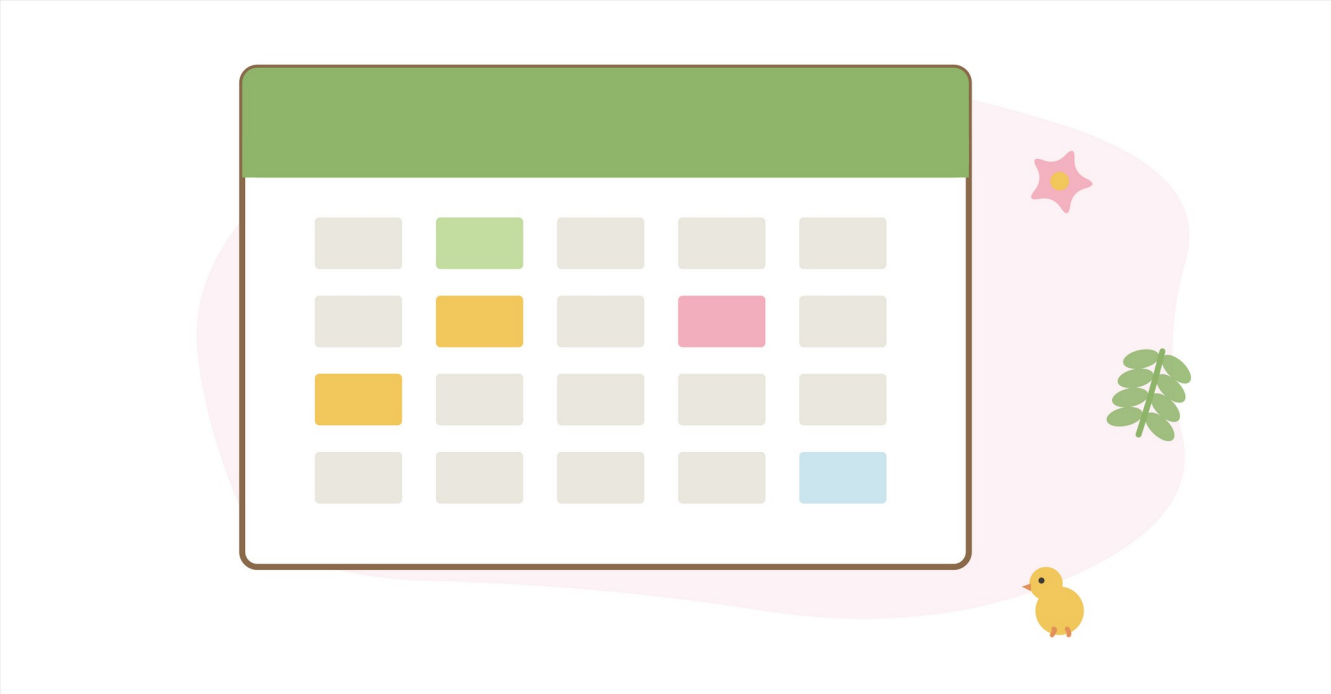
時限	月	火	水	木	金
1	当番	当番	当番	当番	当番
2	エポ	エポ	エポ	エポ	エポ
3	自由	自由	自由	自由	自由
4	算数	国語	算数	国語	算数
5	理科	社会	英語	理科	社会
6	体育	音楽	菜園	体育	森
7	木工	図工	総合	道徳	委員会

エポ＝エポック授業　当番＝いのちの当番
自由＝自由選択ワーク　基礎＝基礎学力タイム
身体表現＝オイリュトミー

CHAPTER 2

エポック年間計画

3〜4週間で1つのテーマを深く掘る



1 エポック授業の進め方

2 4月〜6月／7月〜9月

3 10月〜12月／1月〜3月

2. エポック計画

エポック授業の進め方

毎朝 90 分 ×3 〜 4 週間。 1 日の中を 3 層で構成します

1

リズムの時間（ 15 分）

詩の暗唱、手拍子、九九で体を起こす

2

本時の学び（ 50 分）

前日の想起 → 新しい内容 → 体験と観察 → 対話

3

物語の時間（ 25 分）

テーマに関わる物語を聞き、エポックノートに描く

◎

エポックノート

教科書は使わず、自分で書き・描いた 1 冊が教科書になります



2. エポック計画

4月〜6月（低・中学年の例）

春は、はじまりと生きものの目ざめ

月	エポックの主題	内容と、いのちの学び
4	はじまりの物語／文字	神話と昔話から文字へ。動物の漢字の成り立ち
5	植物と土	種まきから発芽まで。菜園の残さを餌に、堆肥を土に
6	水のはたらき	雨・川・水質。飼育水の管理と梅雨の衛生対策

春のエポックは「はじまり」。文字も生きものも、起源から入ります。

2. エポック計画

7月〜9月

夏は、いのちを守る技術を学ぶ

月	エポックの主題	内容と、いのちの学び
7	星と宇宙／夏の生き物	夏の星座と生き物の一生。暑さから動物を守る工夫
8	夏季休業（自由研究）	地域の生き物調べ。飼育当番を家庭と分担して継続
9	天気と災害	気象の記録。災害時の同行避難と備蓄の計画づくり

夏は、生きものを守るための具体的な技術を学ぶ季節です。

2. エポック計画

10 月〜 12 月

秋は実り、冬は内省の季節

月	エポックの主題	内容と、いのちの学び
10	実りと収穫／数と量	収穫の計量とグラフ化。採卵の記録から割合を学ぶ
11	人と動物の歴史	家畜化から現代のペットまで。殺処分と譲渡を調べる
12	光と闇／冬の生き物	冬至と越冬。保温と体調管理、動物慰霊の日

秋の収穫と採卵から、食べること・いただくことを考えます。

2. エポック計画

1月〜3月

1年をまとめ、次へ渡す

月	エポックの主題	内容と、いのちの学び
1	日本の文化と暦	干支・年中行事。人と動物の長いつきあいを知る
2	地域と環境	地域の生息環境調査。清掃活動と行政への提言づくり
3	1年のまとめ	むすび祭で発表。飼育記録を次の学年へ引き継ぐ

1年のエポックノートを製本し、自分だけの教科書として残します。

CHAPTER 3

教科別カリキュラム

指導要領の内容を、３つの教育と動物愛護で編む



1 国語・算数

2 理科・社会

3 音楽・図画工作

4 体育・道徳・外国語

5 総合・特別活動

3. 教科別カリキュラム

国語

物語から文字へ、文字から表現へ



シュタイナー要素

神話・昔話・詩の朗読と暗唱。動物が主人公の物語を毎朝

モンテッソーリ要素

言語教具と読書棚。動物図鑑や絵本を自分で選ぶ

学習指導要領の内容

配当漢字、読解、作文、書写、古典への入門

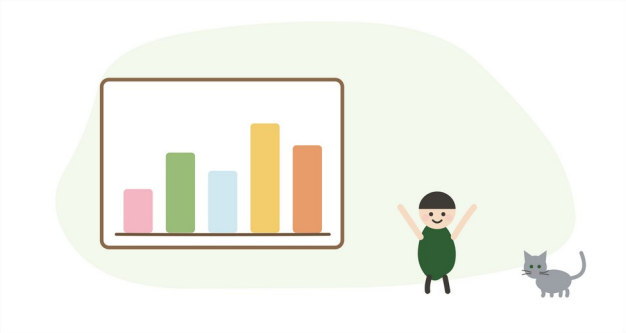
動物愛護との融合例

動物の漢字の成り立ちを学び、飼育日記を作文と書道で仕上げる

3. 教科別カリキュラム

算数

手と体で数に出会い、生活の中で使う



シュタイナー要素

リズムと動きで九九。図形を身体と作図で味わう

モンテッソーリ要素

具体物教具で量と数を手で理解する

学習指導要領の内容

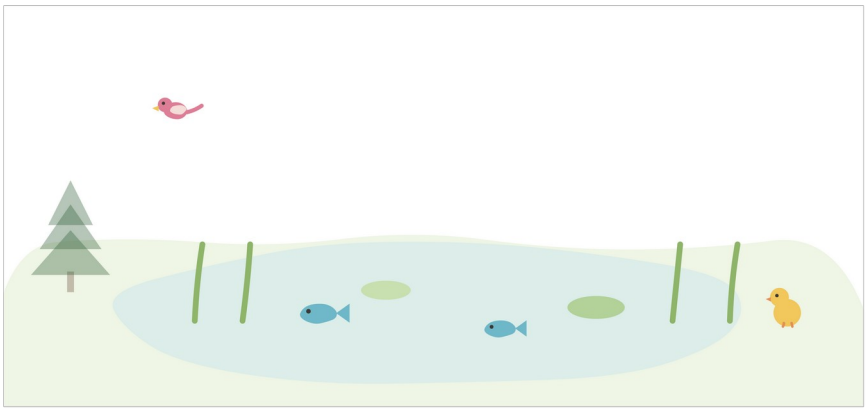
四則計算、分数、図形、割合、データの活用

動物愛護との融合例

体重・給餌量・採卵数を記録してグラフ化。平均と変化を読む

理科

観察から仮説へ、驚きから探究へ



シ

シュタイナー要素

四季の自然観察と、大地・宇宙への畏敬を物語で

モ

モンテッソーリ要素

分類カードと実験教具。全体像から入る

日

学習指導要領の内容

生物、地球、物質とエネルギー、生命

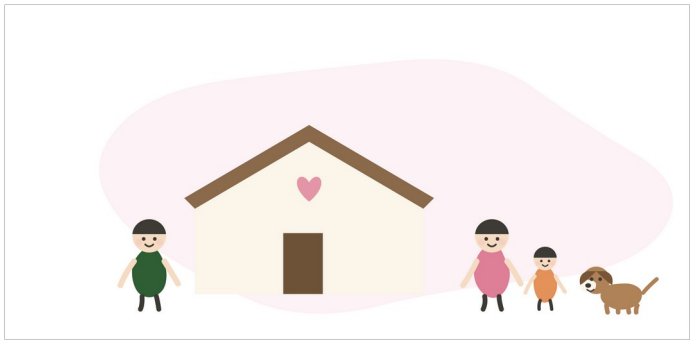
結

動物愛護との融合例

校内ビオトープの 1 年間調査。飼育動物の健康と環境の関係

社会

地域から日本へ、そして世界へ



シ シュタイナー要素

土地と人の物語。地域の歴史を語りで伝える

モ モンテッソーリ要素

地図・年表・国旗の教具。空間と時間の全体像から

日 学習指導要領の内容

地域、産業、歴史、政治、国際理解

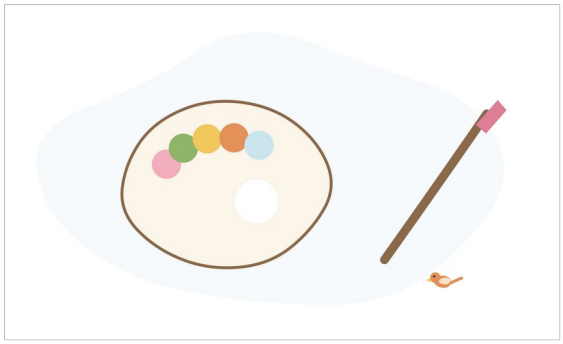
結 動物愛護との融合例

動物愛護管理法と自治体の役割。センター見学と調査

3. 教科別カリキュラム

音楽・図画工作

感じたことを、音と形にする



シ

シュタイナー要素

オイリュトミー、にじみ絵の水彩、五音音階の笛

モ

モンテッソーリ要素

感覚教具で色・音・手ざわりを洗練させる

日

学習指導要領の内容

歌唱、器楽、鑑賞、造形、和楽器にも触れる

結

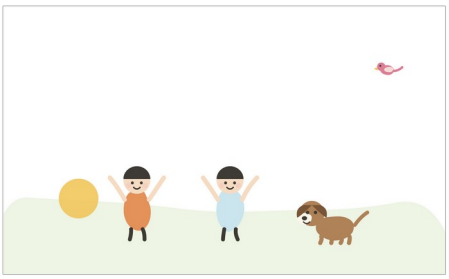
動物愛護との融合例

動物の動きをオイリュトミーで表現。愛護週間のポスター制作

3. 教科別カリキュラム

体育・道徳

からだを動かし、答えのない問いを話す



シ

シュタイナー要素

リズム運動と、身体感覚を目ざめさせる集団遊び

モ

モンテッソーリ要素

日常生活の練習。配膳・掃除・世話を自立の訓練に

日

学習指導要領の内容

体つくり運動、球技、武道、道徳「生命の尊さ」「自然愛護」

結

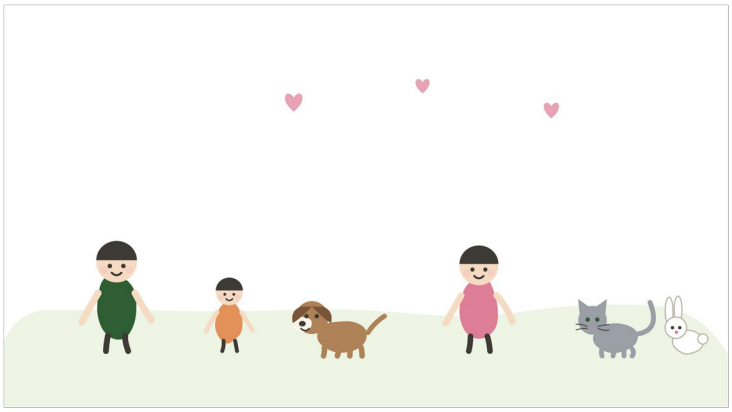
動物愛護との融合例

飼育当番を日常生活の練習に。飼えなくなったいのちを話し合う

3. 教科別カリキュラム

外国語・総合・特別活動

教室の外へ、社会へ



シ **シュタイナー要素**

季節の祭りと、学年を超えた協働作業

モ **モンテッソーリ要素**

自由選択による長期探究プロジェクト

日 **学習指導要領の内容**

外国語活動、総合的な学習、給食・掃除・行事・委員会

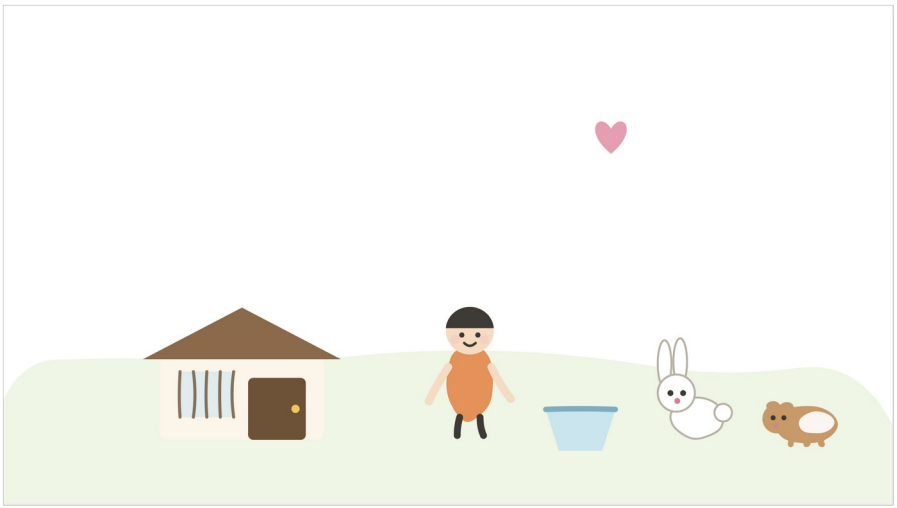
結 **動物愛護との融合例**

「地域むすびプロジェクト」。収穫を福祉施設へ、保護施設へ支援

CHAPTER 4

飼育当番の設計

毎日 30 分。学年が上がるほど、責任が広がります



1 学年別の役割

2 当番の 1 日の手順

3 学年別の到達目標

4 記録と評価

4. 飼育当番

学年別の役割

6 年間かけて、見習いから運営者へ

学年	担当	身につけること
1 年	水・餌の補助	毎日続けること。手を洗うこと
2 年	小動物の給餌	量をはかる。ようすを見て報告する
3 年	清掃と記録	汚れの意味を知る。記録を文字で残す
4 年	健康チェック	食欲・便・毛づや。異常を言葉にする
5 年	下級生の指導	教える。手順書をつくる
6 年	当番表の運営	全体を調整する。休日体制を組む

4. 飼育当番

当番の 1 日の手順

毎朝 8:35 から 30 分。順序は毎日同じです

順	作業	確認すること
1	手洗い・準備	エプロンと長靴。道具をそろえる
2	全頭の目視	元気か、けがはないか、いつもと違わないか
3	水の交換	容器を洗ってから、新しい水を満たす
4	給餌	決めた量をはかる。食べ残しを確認する
5	清掃	汚れを取り、敷きわらを足す
6	記録・手洗い	カードに記入。気づきを一言添える

異常を見つけたら、その場で担任と飼育専任担当に報告します。

学年別の到達目標

知る・触れる・世話する・考える・行動するの深まり

1 1～2年

毎日続ける。やさしく触れる

3 3～4年

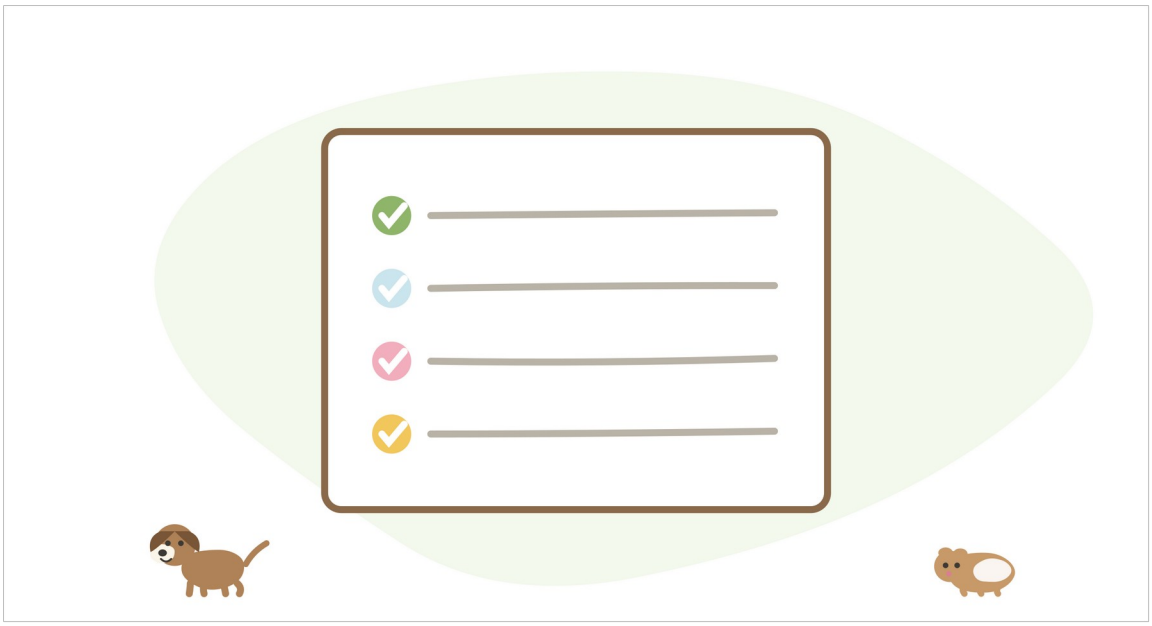
変化に気づき、言葉にする

5 5～6年

課題を調べ、伝える

◎ 共通

いやがったらやめる、を守る



4. 飼育当番

記録と評価



録

飼育記録カード

毎日 1 枚。作業・気づき・動物のようすを短く

綴

エポックノート

自分で書いた 1 冊が教科書。年度末に製本して残す

語

成長物語の記述

数値ではなく、その子の歩みを言葉で描く質的評価

学

年 2 回の学力チェック

指導要領の基準で到達度を確認。進学にも備える

おわりに

幹の時期に育てたいもの

世話をした生きものは、一生の先生になります。

続けた事実が、学力と自信を支えます。

続 **続ける力**

休むと誰かが困る、という実感

察 **察する力**

言葉を持たない相手の変化に気づく

学 **確かな学力**

指導要領に完全準拠した基礎の定着

表 **表す力**

感じたことを絵・文・身体で形にする

